

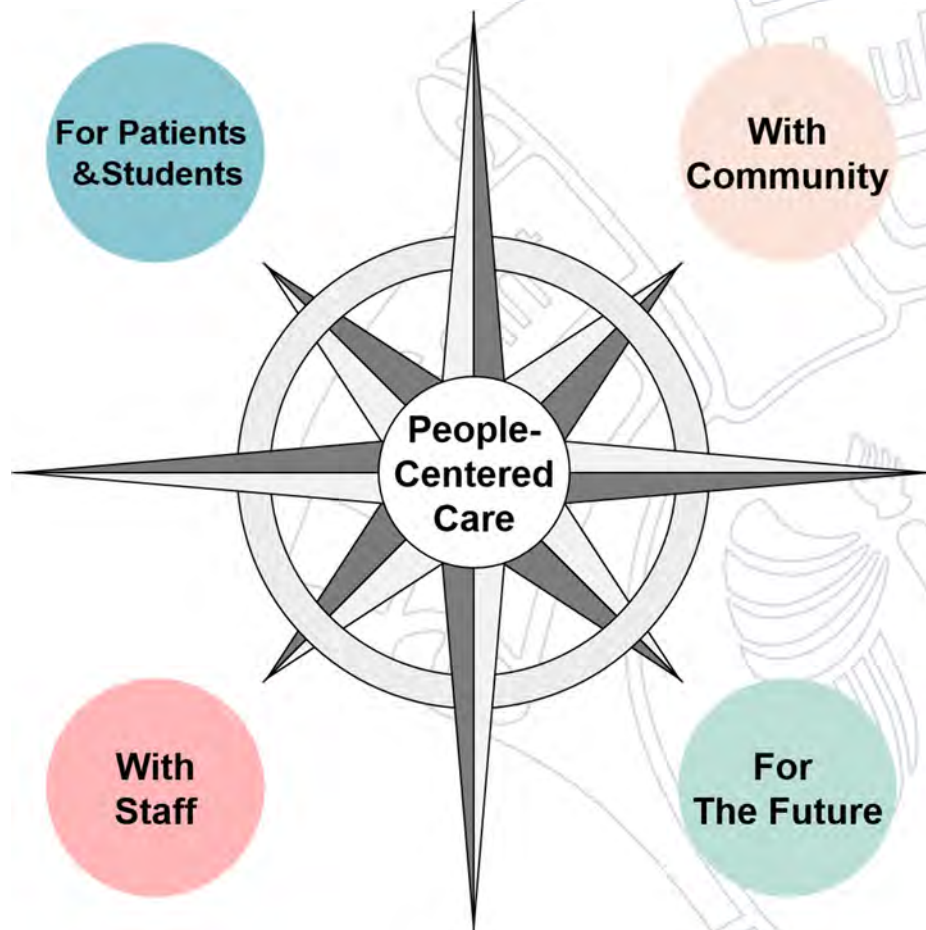
# 2024 年度事業計画書

学校法人聖路加国際大学



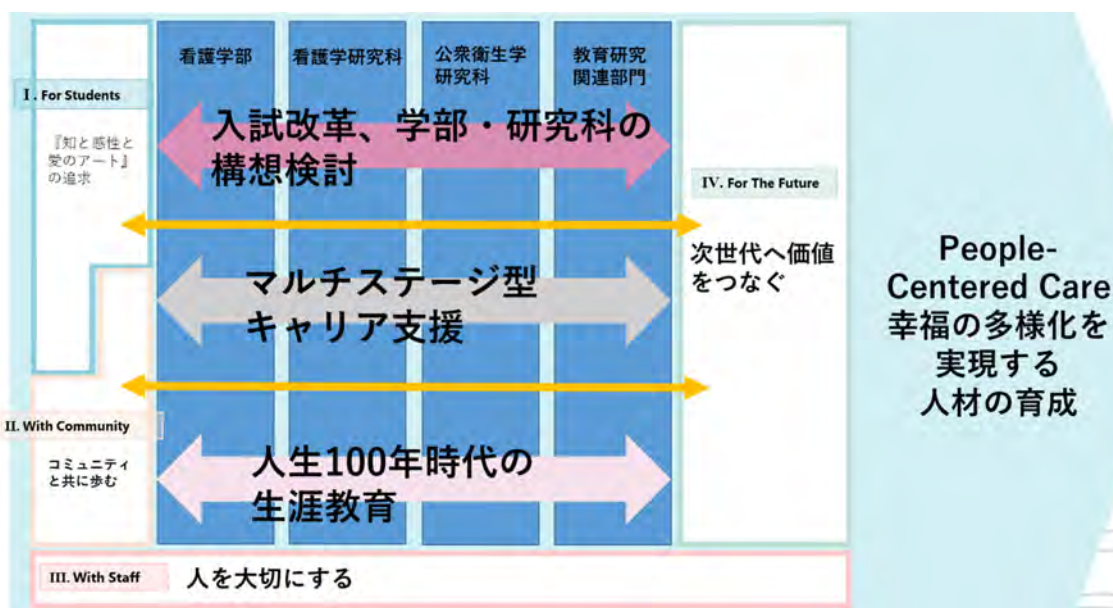
## 基本コンセプト

中期計画 2030 の策定にあたり、当法人の共通する価値観であるコアバリューを People-Centered Care（以下「PCC」）と定め、これに基づく運営の基本方針の再設定と詳細な中期計画策定への展開を実施することといたしました。



# 聖路加国際大学

当法人の理念、大学の理念、大学の教育に係る方針等に掲げる使命を果たすため、当法人のコアバリューである PCCのもと、4つのコンセプト「For Students」「With Community」「With Staff」「For the Future」を掲げ、2023-2029 年度においては以下の3本の柱を設定し、時代の要請を踏まえた各施策に取り組みます。



## 【For Students】：『知と感性と愛のアート』の追求

### ○中期計画

- ①学修者本位の教育を実現する教学マネジメントを構築します。
- ②時代の変化を見据えた教育改革（教育 DX を含む）に取り組みます。
- ③学生の多様なキャリアを支援します。

## 【With Community】：コミュニティと共に歩む

### ○中期計画

- ④人生 100 年時代の生涯教育について取り組みます。
- ⑤SDGs への貢献に取り組みます。

【With Staff】：人を大切にする

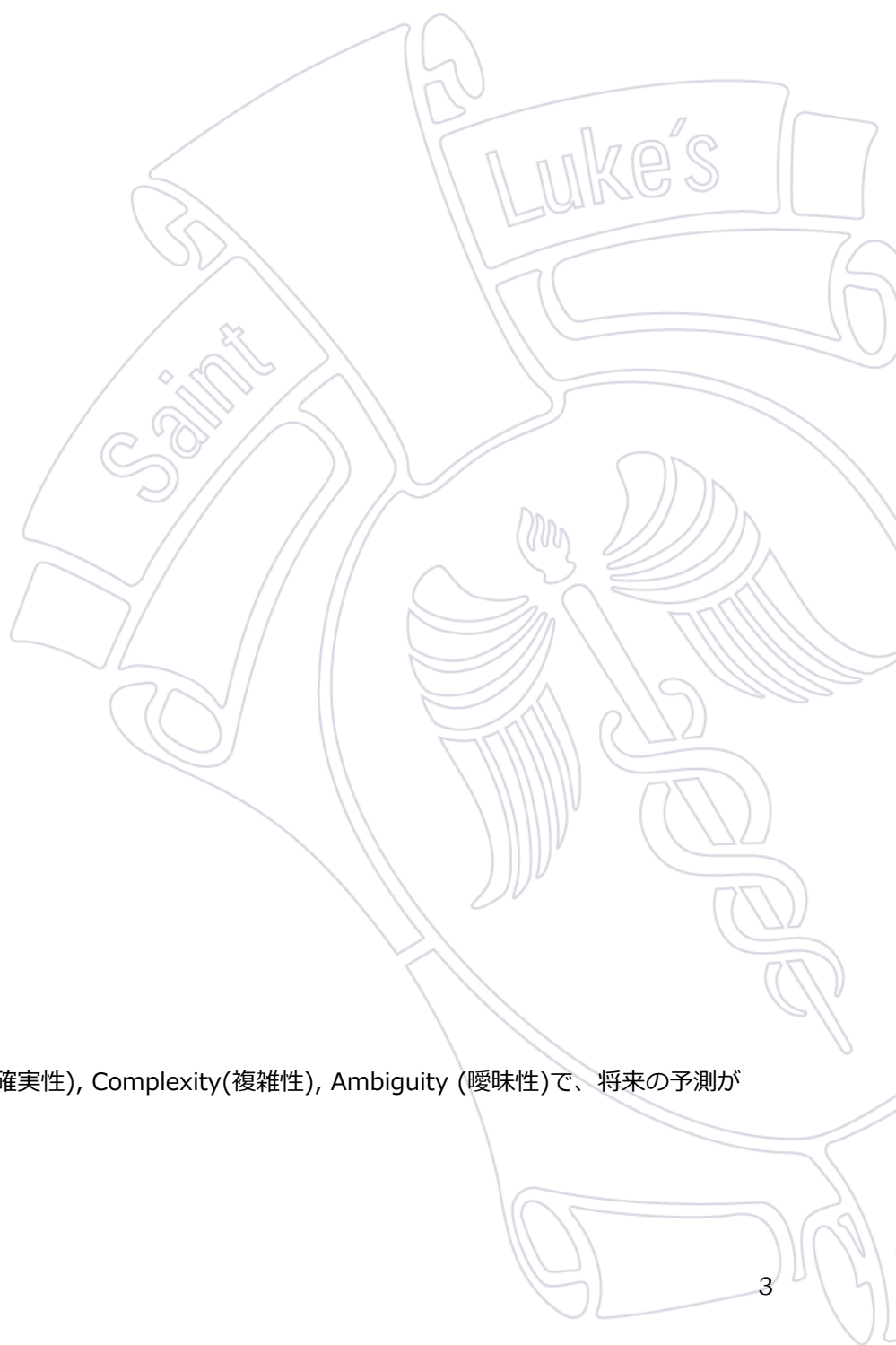
○中期計画

- ⑥パフォーマンス向上を実現する教育研究組織の最適化に取り組みます。
- ⑦研究環境の向上（DX 推進含む）を図ります。
- ⑧教職員のワーク・エンゲージメント向上施策に取り組みます。

【For The Future】：次世代へ価値をつなぐ

○中期計画

- ⑨VUCA<sup>1</sup>時代に即した内部質保証体制を構築します。
- ⑩財務強化と組織レジリエンスの向上に取り組みます。



---

<sup>1</sup> Volatility(変動性), Uncertainty(不確実性), Complexity(複雑性), Ambiguity (曖昧性)で、将来の予測が困難な状態のこと

# 聖路加国際病院

当法人のコアバリューである PCCのもと、運営の基本方針 12 項目に基づき、中期計画として以下の 27 項目を設定しました。

## 【For Patients】：一人ひとりを尊重する

1. 一人ひとりの多様な価値観や社会的背景に寄り添い、患者自身の意思が尊重される医療を提供するとともに、社会的支援に取り組みます。

### ○中期計画

- ①患者経験調査の充実と結果の向上を目指します。
- ②患者さんの多様な価値観や社会的背景に配慮した意思決定支援の実践と強化します。
- ③患者さんの多様性に合わせた診療の在り方、設備の整備を推進します。
- ④患者さんの社会的課題に対する支援体制の強化を行います。

2. 高度急性期の特定機能病院として、世界水準の安全で総合的な医療サービスを国内外に提供します。

### ○中期計画

- ⑤高度な総合医療の提供に取り組みます。
- ⑥ロボット支援手術の拡大を図ります。
- ⑦さらなる医療安全と質の向上・改善活動を実践します。

3. 質の高い予防医療から治療までサポートできる、包括的なサービスを提供します。

### ○中期計画

- ⑧人生 100 年時代に備え、病院事業の柱の 1 つとして「病気を未然に防ぐ」ことに注力し、質の高い予防医療サービスの差別化と充実を図ります。
- ⑨健診後にスムーズに治療へ移行できるように健診施設と本院との連携を強化します。
- ⑩検査項目の定期的な見直し等により社会のニーズに対応します。(2023 年度達成)

4. デジタル技術を活用して医療の利便性の向上と効率化に取り組むとともに、温かみのある医療を提供します。

### ○中期計画

- ⑪デジタル技術を積極的に取り入れ、患者対応業務の自動化等、オペレーションの効率化と利便性の追求を図ります。
- ⑫オンライン診療の推進を図ります。



【With Community】：コミュニティと共に歩む

5. 地域・市民の公衆衛生、ヘルスリテラシーの向上に貢献します。

○中期計画

- ⑬大学との協働による地域・市民のヘルスリテラシー教育を実施します。
- ⑭患者アドボカシーの実践に注力します。
- ⑮中央区との包括連携協定の更なる充実を図ります。

6. 地域医療をはじめ、災害時や新興感染症等の感染拡大時に、柔軟で適応可能な医療提供体制の強化を図ります。

○中期計画

- ⑯災害時や新興感染症拡大時に、継続可能な医療提供体制の検討と設備の強化を進めます。

7. 地域の医療機関や介護施設等との連携を通じて、シームレスな医療提供を目指します。

○中期計画

- ⑰地域の医療機関や介護施設ならびに行政等との連携体制の見直しと強化を図ります。

【With Staff】：人を大切にする

8. 多様な働き方を支援するとともに、職員が安全で働き甲斐のある職場環境を提供します。

○中期計画

- ⑱安心・安全で、働き甲斐のある職場環境と人事制度の整備を行います。
- ⑲デジタル技術の活用やIT化等のDXを推進し、業務の効率化・合理化を図ります。

9. 高度な職能教育を行うとともに、幅広い教養と豊かな人間性の向上を支援し、全人的医療の担い手を育成します。

○中期計画

- ⑳職能教育や教養教育等、職員教育の強化により各職種の専門性を高めます。
- ㉑当院における専門研修プログラムの在り方の検討を行います。

【For The Future】：次世代へ価値をつなぐ

10. 次世代の医療を見据え、新しい治療法や医療技術の開発・研究に取り組むとともに、環境負荷を低減する病院目指します。

○中期計画

- ㉒地球環境に配慮し、持続可能な社会に相応しい体制を検討します。(グリーンホスピタル)
- ㉓20数年後に想定される病院施設の建て替えを踏まえ、法人全体の将来構想委員会(仮称)を設置

し、将来計画の基本方針ならびに計画立案の検討を進めます。

㊸研究開発支援体制のさらなる強化を行います。

11. 病院運営におけるデータの活用を推進します。

○中期計画

㊹AIの活用やDXの実践などを通じて、病院運営における医療情報データのさらなる活用を行います。

㊺情報システムの刷新を図るべく、次期情報システムの開発計画を策定し実行します。

12. 将来にわたる発展のため、財政基盤の安定化を図ります。

○中期計画

㊻次期病院建設計画を視野に、中長期財政計画に基づき、医業収支の改善と財政基盤の安定化に取り組みます。



## 2024 年度事業計画

### I. 教学に関する事項

#### 【For Students】『知と感性と愛のアート』の追求

##### 1. 学修者本位の教育を実現する教学マネジメントの構築

各学部・研究科の「学位授与方針」「教育課程編成・実施方針」「学生の受け入れ方針」に基づき、学修者本位の教育を実現しながら教育目標を達成するために必要な事業に取り組みます。

2024 年度は、Vision2030 のゴールとなる“People-Centered Care 幸福の多様化を実現し、SDGs へ貢献する人材の育成”を長期的視点で見据えつつ、教員体制の最適化について検討します。

##### 2. 時代の変化を見据えた教育改革（教育 DX を含む）

Vision2030 の達成に向け、時代の変化を見据えた必要な教育改革に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、大学の理念を実現する上で、時代の多様な変化を踏まえ取り組むべき諸課題の検討・実施に取り組みます。

看護学部において、2024 年度は質の高い学生を全国から早期に確保するため入試改革を実施します。

公衆衛生学研究科では、多様な学生の確保を目指した入学定員増に向けて教員体制を強化します。

##### 3. 学生の多様なキャリアを支援

社会の変化と学生の多様化に対応した進路・キャリア支援に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、就職支援部門を設置し、情報提供・ガイダンス・個人相談のサービス等について窓口を一元化して提供します。また、正課教育でのキャリア支援の検討・実施を行います。

2024 年度は、多様なニーズ・レディネスを持つ学生の進路支援を実施していきます。また、学部学生の適性や希望に合った採用合格者を向上すべく、就職対策へのアドバイスの強化などの施策を実行します。

#### 【With Community】コミュニティと共に歩む

##### 4. 多様な学びの対象（市民・学生・医療従事者・研究者・教員）を前提とした生涯教育

Vision2030 の達成に向け、人生 100 年時代の生涯教育の提供に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、“People-Centered Care 幸福の多様化を実現する人材の育成”を実現するための教育プログラムの提供について対象（市民・学生・医療従事者・研究者・教員）ごとに関連部門で検討し、第 II 期における生涯教育提供の枠組みを構築します。

2024 年度は、社会人を対象とした新たなリカレント教育プログラムの開発を進めます。



【With Staff】人を大切にする

#### 5. 研究環境の向上（DX 推進含む）

Vision2030 の達成に向け、研究環境の向上（DX 推進含む）を図ります。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、研究促進に向けて必要とされる課題を特定し、環境充実に向けた取り組みを行います。

2024 年度は、研究管理部においては研究支援サービスの普及と定着にむけた活動を推進していきます。また、学術情報部では研究促進に既存の学術情報資源を最大限活用するための情報提供を行います。

【For The Future】：次世代へ価値をつなぐ

#### 6. VUCA 時代に即した内部質保証体制の構築

Vision2030 施策の実行に向け、確実な内部質保証体制を構築します。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、全学内部質保証推進組織である自己評価委員会が中心となり、学内各部門における PDCA サイクルを機能させる取り組みを推進し、定期的な点検・評価を行うとともに、実施の適切性を担保する上での課題の特定と改善に取り組みます。

2024 年度は、大学設置基準改正に伴う学部教員組織の点検、学則関連規程の点検を実施します。

#### 7. 財務強化と組織レジリエンスの向上

Vision2030 の達成に向け、財務強化と組織レジリエンスの向上に取り組めます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、教育振興基金等の寄付財源の獲得に向けた効果的な方策について検討し、取り組みを行います。

2024 年度は、看護学部・看護学研究科・公衆衛生学研究科において寄付金・奨学金：学生支援や教育設備の維持・充実に向けて、新たな奨学金制度設立の検討を進めます。国際・地域連携部では、公平かつ公正な国際奨学金の運用を目指し、現行の運用方法の見直しを行います。

## Ⅱ. 聖路加国際病院に関する事項

### 1. 病院機能の向上

病院機能の強化に向けた基本方針に基づき、これまで聖路加国際病院が築いてきた強みを生かし、医療を取り巻く環境の変化に対応しながら、特定機能病院に求められる機能や経営基盤を盤石にするために未来を見据えた機能の充実を図ります。具体的には、高度医療の実践として、手術室の増設、ステップダウンユニットの設置、先端技術の継続的導入を実施します。また、救急受け入れ体制の効率化として、重点疾患と連動した入院受け入れ体制を構築します。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画 ②③④⑤⑥ )

【With Community】：(中期計画 ⑩⑪ )

【With Staff】：(中期計画 ⑱ )

【For The Future】：(中期計画 ②⑤⑦ )

### 2. 病床機能再編の検討

患者の高齢化や医療需要の変化、医療技術の進歩による平均在院日数の短縮等に柔軟に対応するために、現状の病床運営における課題を踏まえ、病床機能の再編および病床管理の強化に取り組みます。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画 ②③④⑧⑨ )

【With Community】：(中期計画 ⑭⑮ )

【With Staff】：(中期計画 ⑱ )

【For The Future】：(中期計画 ②⑤⑦ )

### 3. 集患対策・マーケティングの強化

聖路加国際病院の強みを生かした体系的な集患・マーケティング戦略を実践します。聖路加国際病院の付加価値を構築するために医師のブランディングやWEBメディアを利用したマーケティング、緊密で質の高い連携施設の確立、予約機能の充実による外来機能の標準化を目指します。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画 ①②⑤⑪⑫ )

【With Community】：(中期計画 ⑰ )

【With Staff】：(中期計画 ⑱⑲ )

【For The Future】：(中期計画 ②⑤⑦ )

#### 4. 病床稼働の安定化に向けた体制構築・業務分担

病床稼働の安定化に向け、病棟業務の DX 推進、医師部門におけるオーダー時間や検査件数の適正化などの改善、薬剤部門やコメディカルにおけるタスクシフトの推進、病院事務部門における医師事務作業補助者業務の拡大および医事業務の DX 化の推進に取り組みます。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画 ③④⑤⑦⑪ )

【With Community】：(中期計画 ⑩⑰)

【With Staff】：(中期計画 ⑱⑲⑳)

【For The Future】：(中期計画 ㉒㉓㉔㉕)

#### 5. PFM (Patient Flow Management) センターの検討

PFM センターを構築することで、入院前の説明や患者情報の収集を集約化、標準化し、患者、病院スタッフ双方にとって治療の質向上、患者負担の軽減、スタッフの業務負担の軽減を目指します。2024 年度は小規模トライアルによる効果検証を実施し、PFM センターの本格的設置に向けた取り組みを進めます。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画 ①②③④⑤⑦⑪)

【With Community】：(中期計画 ⑭⑰)

【With Staff】：(中期計画 ⑲ )

【For The Future】：(中期計画 ㉓㉔㉕)

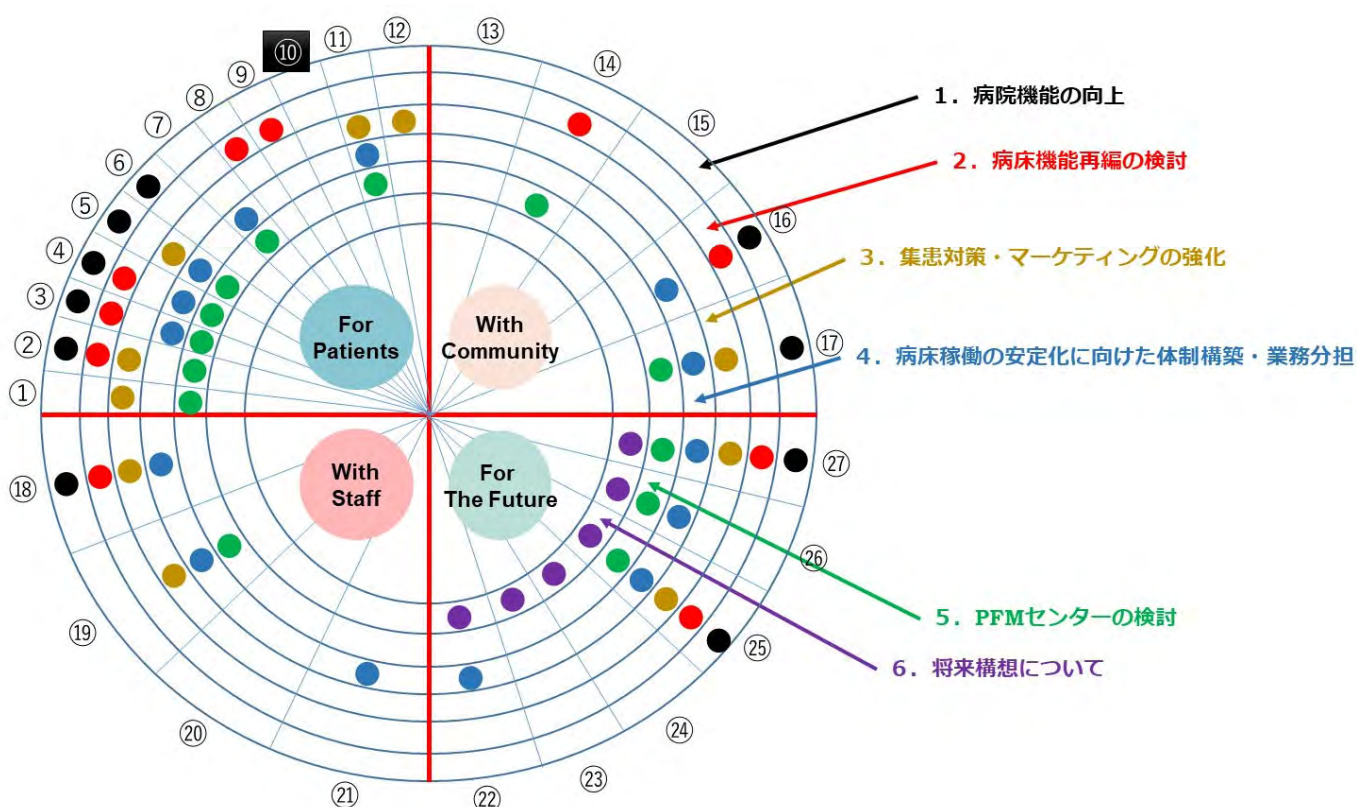
#### 6. 将来構想について

20 数年後に想定される病院施設の建て替えを踏まえ、病院における将来計画の基本方針ならびに計画立案の検討を進めます。

⇒該当する中期計画

【For The Future】：(中期計画㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗)

## 2024 年度病院事業計画に該当する中期計画



### Ⅲ. 人事に関する事項

#### (1) 医師および他職種の医療人員体制の検討

当院に求められる医師像（高度な臨床能力、高度の医療技術の研究・開発、教育能力、診療科横断の協調・集学的診療）の明確化を図り、医師評価・昇任・選任制度の標準化などの既存制度の見直しを検討します。また、他の医療職種も含め病院のミッションに適合した医療人員配置（増員・減員すべき診療科）の検討を進めます。

#### (2) 実行力のある医師の働き方改革の推進

労務管理の徹底および医師による面接指導を着実に実行し、宿日直体制の見直しやタスクシフト/シェアの推進等を通じて、良質で安全な医療の提供のため実行力のある労働時間の適正化を行います。

#### (3) 大学における人事計画の基本方針に基づく教員人事計画

大学における2024年度から2028年度までの教員人事基本方針に基づき、人事計画を実施します。

#### (4) 働きがいと働きやすさのある職場環境を整備

管理者研修・考課者研修等の研修体系を整備し、適切な評価と人材育成を行います。また、デジタル技術・DXの推進による業務の効率化・合理化を更に推し進めます。



#### IV. 施設に関する事項

長期設備計画に基づき、中期計画に定めた施設に関する事項のうち、2024年度は、病院本館における今後の医療機能維持のため、以下の設備の更新を重点的に実施します。

- ①病院本館受変電設備更新工事
- ②2階手術室増設工事
- ③病院本館患者用エレベーター更新工事

#### V. 財務に関する事項

##### ① 収支改善への取組み

予算策定において、中期計画における達成目標を実現するための経営資源（ヒト、モノ、カネ）の効率な配分を行うため、

- (1) 医療安全・教育・法規制の観点から必須と考えられるもの
- (2) 早期の投資回収が見込めるもの（収入増加・費用削減が見込めるもの）

を優先的に、それ以外の経費については引き続きコスト削減に向けた活動を行い、収支改善に取り組みます。

また、St. Luke's 収支改善プロジェクトでの取り組みを学校法人内に展開し、収支改善を推進します。

上記の取り組みを通じて学校法人としての財務の安全性を維持し、引き続き健全な学校法人経営に努めます。

##### ② 将来の大学・病院建て替えに向けた資金計画の実行

将来の大学・病院建て替えに向けて想定される金額のうち自己資金として手当てすべき金額を毎年安定して積み立てていきます。

##### ③ 所有不動産の効率的運用による収益への貢献

当法人が所有する不動産の効率的利用を推進することにより、収益増やコスト削減を計画します。